

翻訳業界のリーディングカンパニーが業界基準を築く

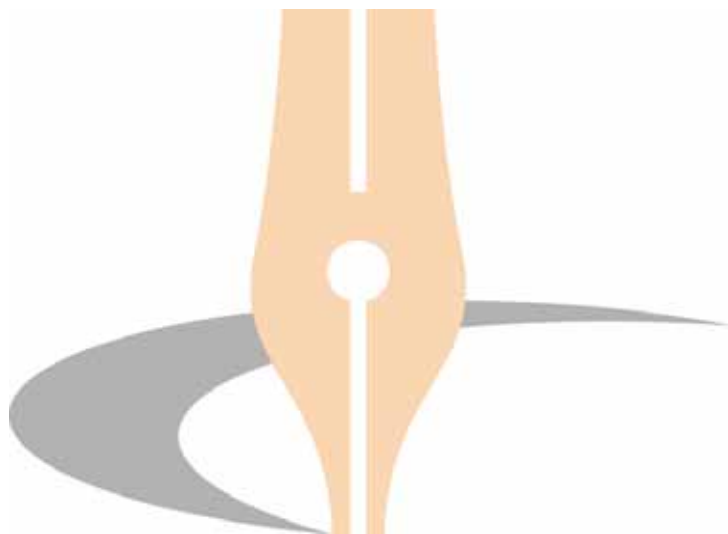
# 株式会社 翻訳センター 個人投資家向け会社説明会

<http://www.honyakuctr.com>

平成18年12月2日

大証ヘラクレス:2483

# ・事業内容

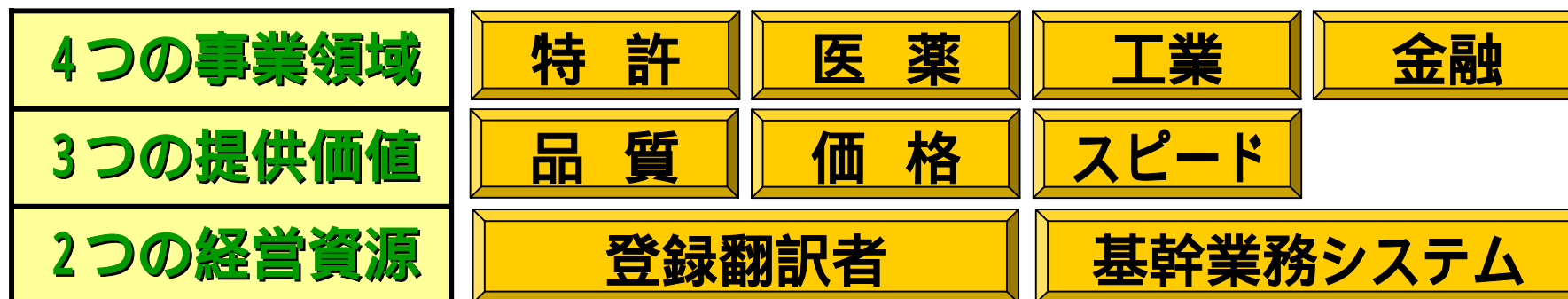


1. 概要
2. 翻訳センターのコア・コンピタンス
3. 事業の特徴
4. 分野別売上状況(1)(2)
5. 業界最大規模のプラットフォーム
6. 基幹業務システム(SOLA)
7. 登録翻訳者動向

## 1. 概要

会社名	株式会社 翻訳センター
代表者	東 郁 男
所在地	大阪市中央区平野町2丁目5番8号
設 立	昭和61年(1986年)4月
事業内容	翻訳サービス業
資本金	386,000千円
売上高	3,488,291千円(平成18年3月期)
事業所	大阪・東京・名古屋
従業員数	153人(平成18年9月末現在)

## 2. 翻訳センターのコア・コンピタンス



業界内シェアアップ

収益力強化

「産業翻訳界」の“ナンバー 1”  
デファクトスタンダードを目指す！

## 3. 事業の特徴

### 1. 主力事業領域

- 約50ヶ国語に対応  
日本語 英語が約8割
- 「特許」「医薬」「工業」「金融」の  
4分野中心に展開

### 2. 年間受注件数

- 約29,000件(H18/3期)
- 取引顧客の約8割はリピーター

### 3. 登録翻訳者

- 2,761名(H18/9期)  
質の高い翻訳者を確保
- 専門分野の知識・資格を擁する
  - 語学力、文章力、スピード
  - 機密情報の遵守

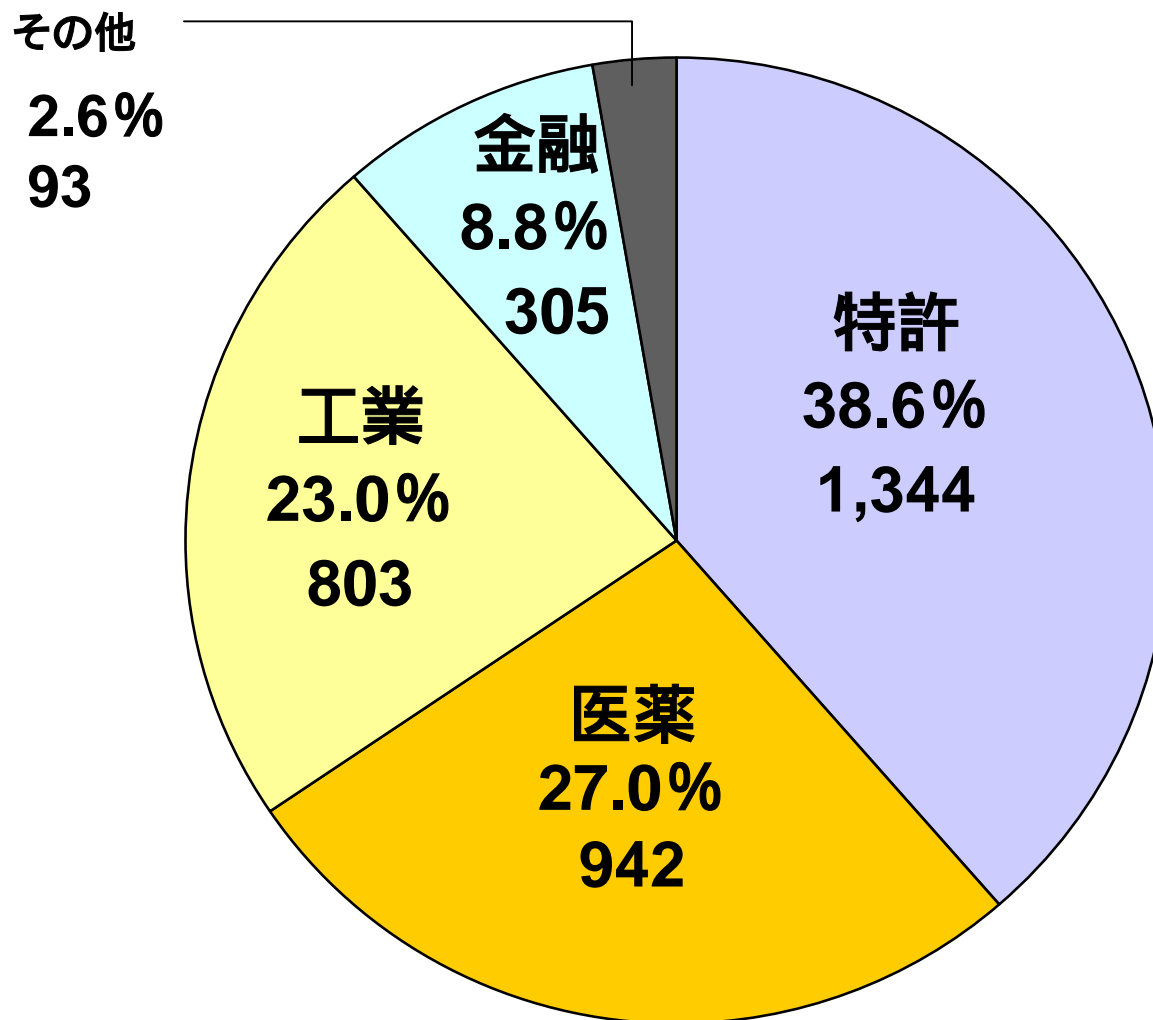
### 4. ビジネスモデル

基幹業務システム(SOLA)による  
顧客ニーズと翻訳者スキルの  
最適なマッチングと業務効率化

## 4. 分野別売上状況(1)

### 分野別構成比率(H18年3月期)

(単位:百万円)



## 4. 分野別売上状況(2)

### 特許

#### 外国出願件数増加(PCT)

- バイオ案件増加(外国 日本)
- 電気電子案件増加(日本 外国)

#### 中国出願件数急増

- 中国出願の逆翻訳  
(中国語 日本語)

### 工業

#### 自動車海外生産台数増加

- 東京と名古屋で受注増加
- 海外への工場・技術移転用文書で  
大型案件受注

#### 中国語ニーズの増加

### 医薬

#### メガファーマ化

- 集中購買の促進

#### 医療機器規制強化

- 申請資料翻訳ニーズ増加

### 金融

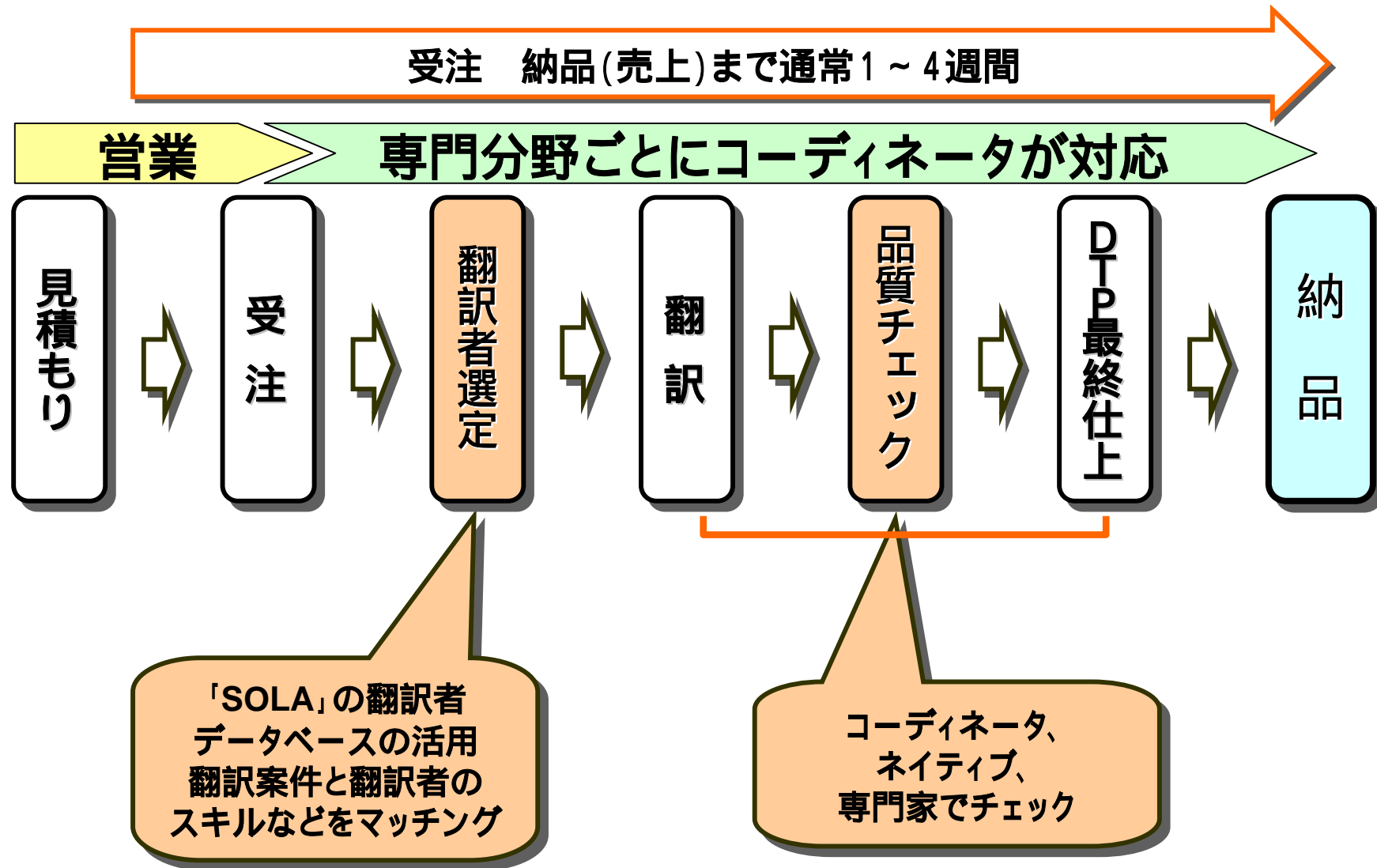
#### 外国人持株比率の増加

- IR英語化ニーズ増加

#### 外国法事務案件増加

- 各種契約書、デューデリ資料、  
社内諸規定等の増加

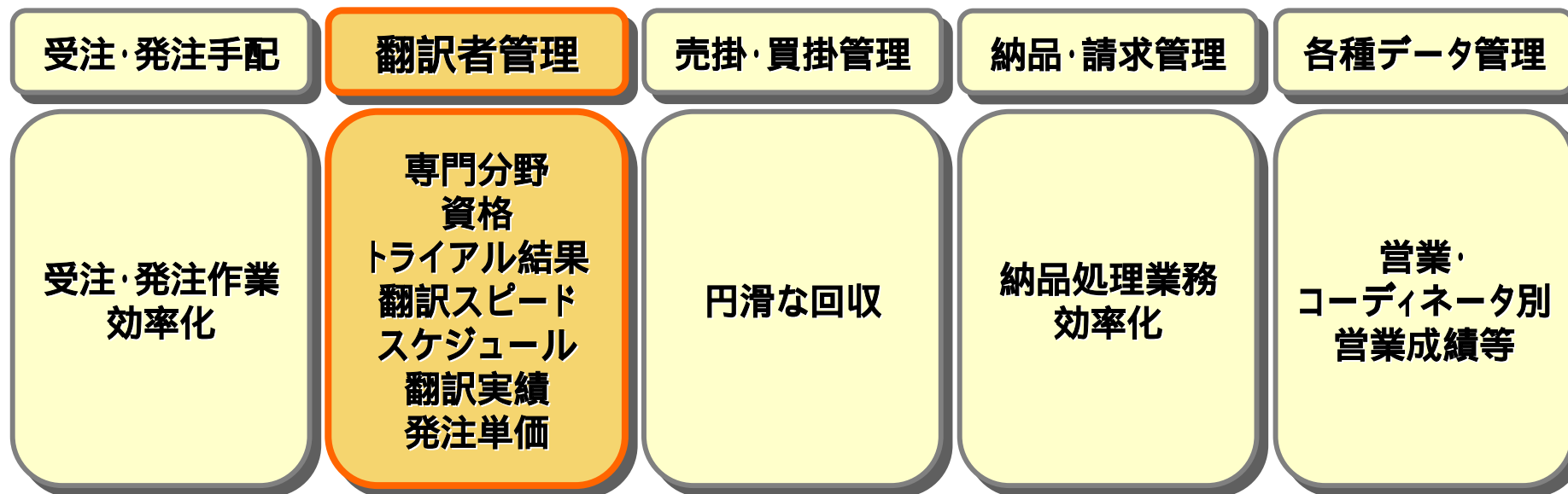
## 5. 業界最大規模の翻訳プラットフォーム





## 6. 基幹業務システム(SOLA)

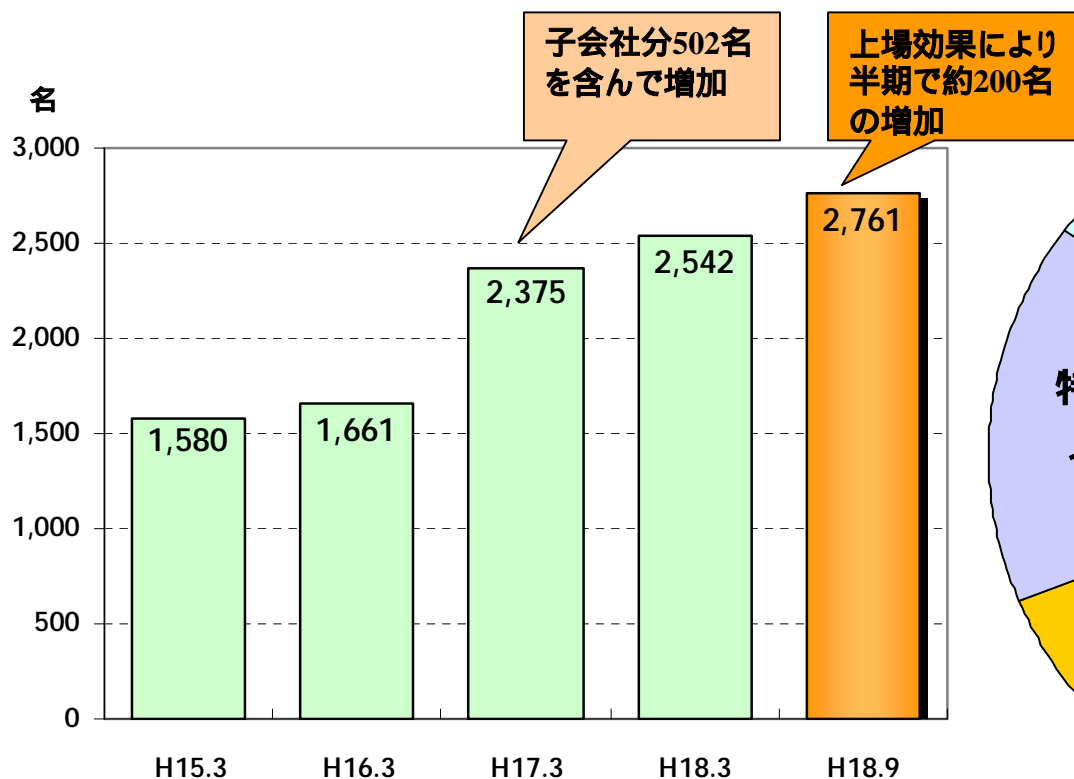
全社オンラインでリアルタイムに情報を共有化



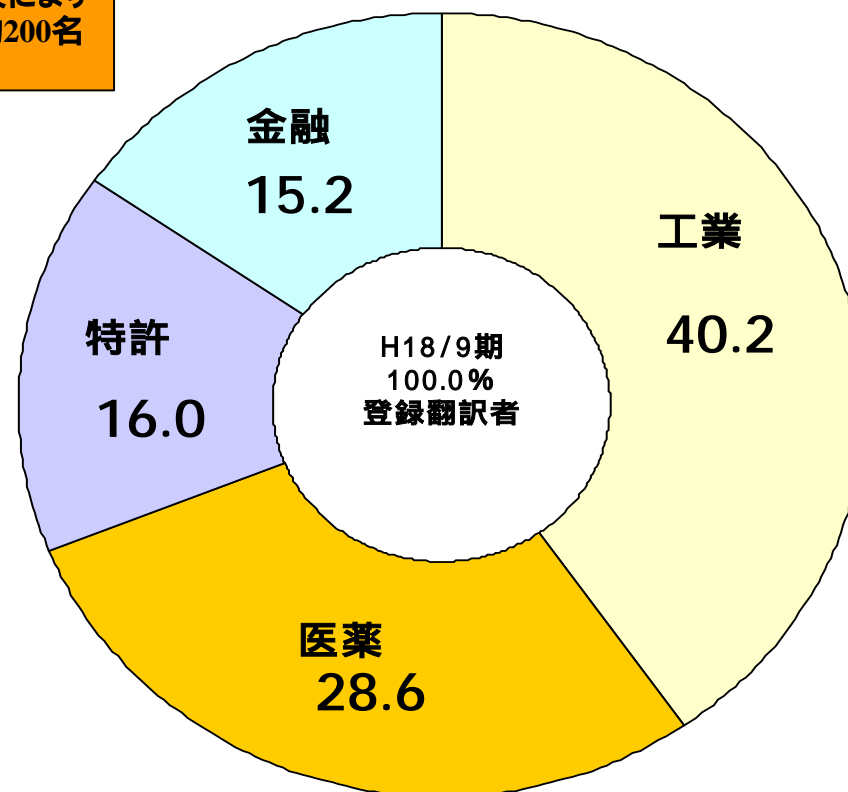
収益管理の徹底・翻訳製品の  
「高品質化」に貢献！

## 7. 登録翻訳者動向

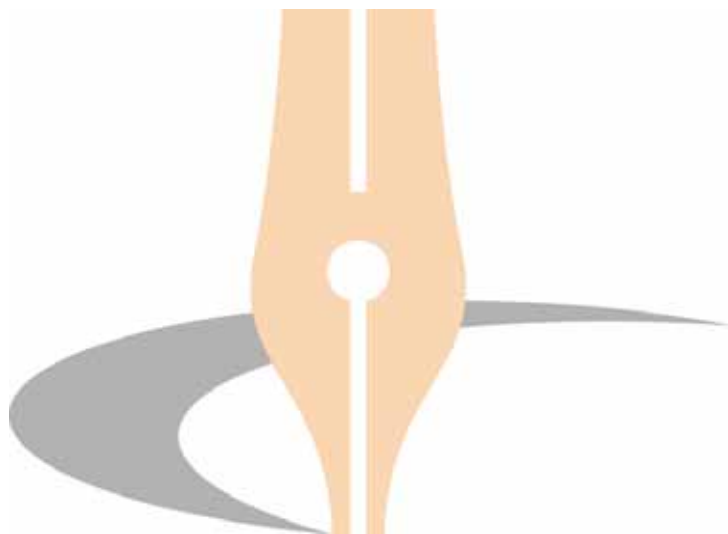
登録翻訳者数の推移



分野別登録翻訳者割合



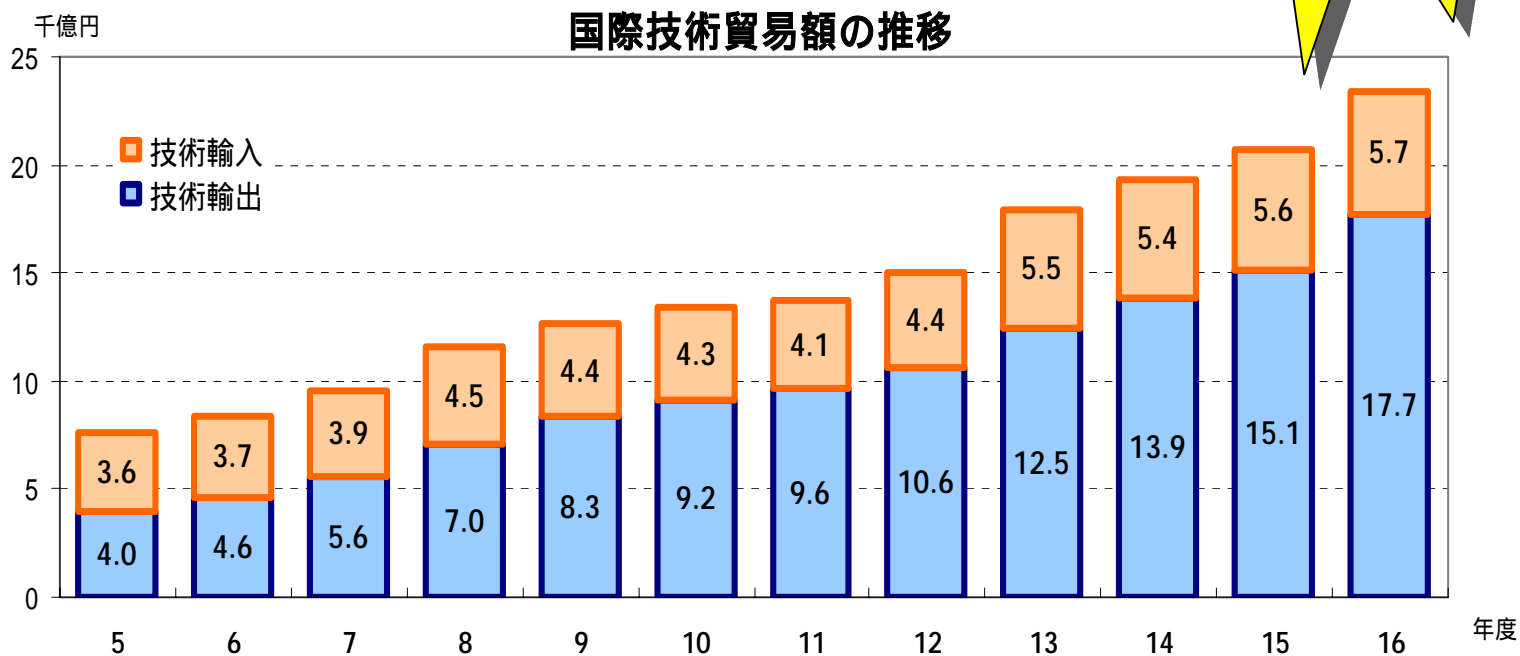
# . 市場動向



1. マクロ事業環境
2. 産業翻訳市場
3. 競合環境

# 1. マクロ事業環境

- わが国の国際技術貿易額は、約2兆3,400億円
- 国際競争力強化のための研究開発投資は高水準
- 国家・企業運営における知財戦略の重要性が高まる



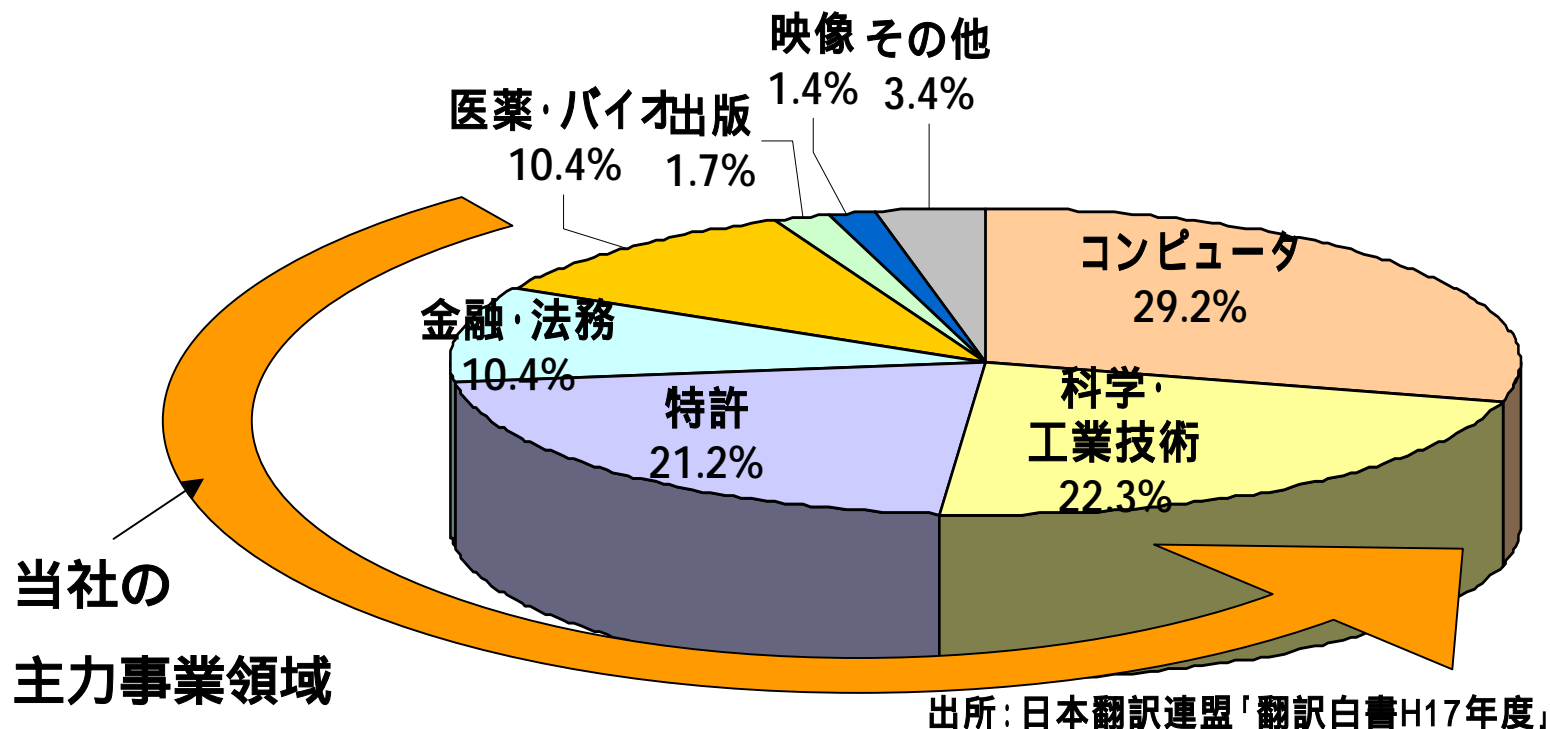
注) H8年度と14年度に対象範囲を拡大。

出所: 総務省「科学技術研究調査報告」

## 2. 産業翻訳市場

- ・ 市場規模は2,000億円と推定
- ・ 会社数は推定2,000社で小規模事業者が大半
- ・ フリーランス翻訳者は推定3万人

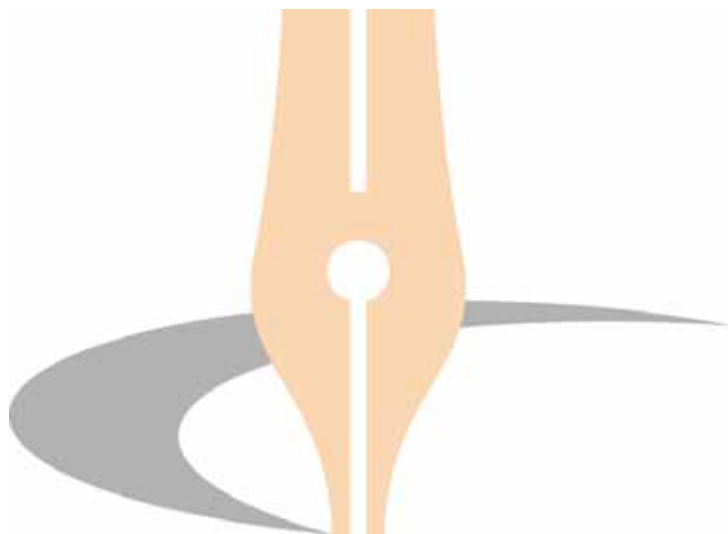
### 翻訳の取扱分野調査結果



## 3. 競合環境

項目	ポイント	当社	小規模事業者
1	総合力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の専門分野を確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単一分野に特化</li> <li>・他分野への進出が限定的</li> </ul>
2	組織力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹業務システムSOLA</li> <li>・複数拠点展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一拠点</li> <li>・後継者難</li> </ul>
3	収益力・資金力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳者からの信用大</li> <li>・大型案件に対応可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転資金内での受注</li> </ul>

## ・今後の経営戦略と重点課題



1. 企業価値拡大に向けた戦略
2. コア・コンピタンスの深耕
3. 事業領域の拡大
4. 翻訳対象分野の拡大
5. 営業地域の拡大(1)(2)

# 1. 企業価値拡大に向けた戦略

## 成長戦略

### (1) コア・コンピタンスの深耕

高付加価値サービスと組織的  
営業力による既存4分野の  
強化

### (2) 事業領域の拡大

翻訳対象分野の拡大と営業  
地域の拡大

## 収益基盤強化

### (1) 翻訳メモリの開発

翻訳作業効率向上と品質の安  
定化

### (2) 基幹業務システム強化

翻訳者品質評価情報と工程  
管理の強化



## 2. コア・コンピタンスの深耕

**「特許」「医薬」「工業」「金融」既存4分野の強化**



### 高付加価値化戦略

**特許:** 出願支援サービス  
**医薬:** メディカルライティング  
非臨床用語データベース  
医学論文抄録作成  
**工業:** 自動車用語データベース  
CAD対応  
**金融:** IR制作体制強化

### 営業戦略

**集中購買契約先**  
グローバル企業16社と契約締結  
(H18年9月時点)

**大型案件受注数**  
平成18年4～9月で4件受注

### 3. 事業領域の拡大

1. 翻訳対象分野の拡大 (コンテンツ関連等)

2. 営業地域の拡大 (海外拠点の設置)

3. 翻訳者育成講座の充実 (翻訳センターアカデミー)

4. 翻訳者・通訳者派遣業務

5. 英語以外の多言語展開 例: 中国語、東欧諸国語

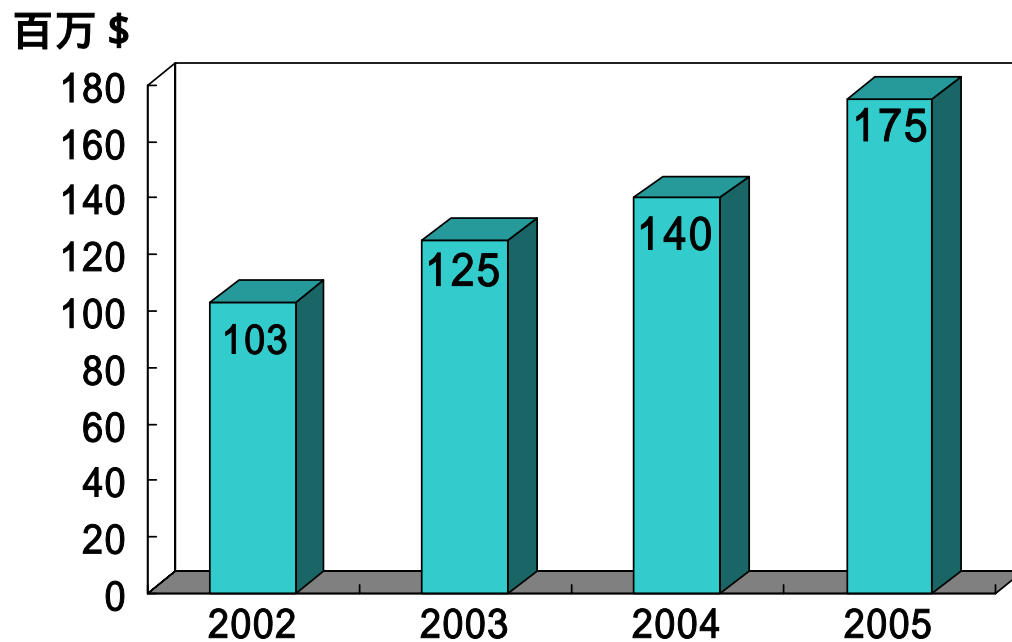
## 4. 翻訳対象分野の拡大 - コンテンツ関連

### ■ 翻訳対象

- MANGA
- ゲーム
- webコンテンツ

### ■ 市場動向

北米における日本マンガ単行本市場



堀淵清治「萌えるアメリカ」日経BP社より当社作成



## 5. 営業地域の拡大 - (1) 米国子会社概要

### 設立目的

北米翻訳市場の開拓  
優秀な翻訳者の確保



### 会社概要

会社名: HC Language Solutions, Inc.

事業内容: 翻訳サービス業

所在地: 米国カリフォルニア州 サンマテオ郡  
フォスターシティ

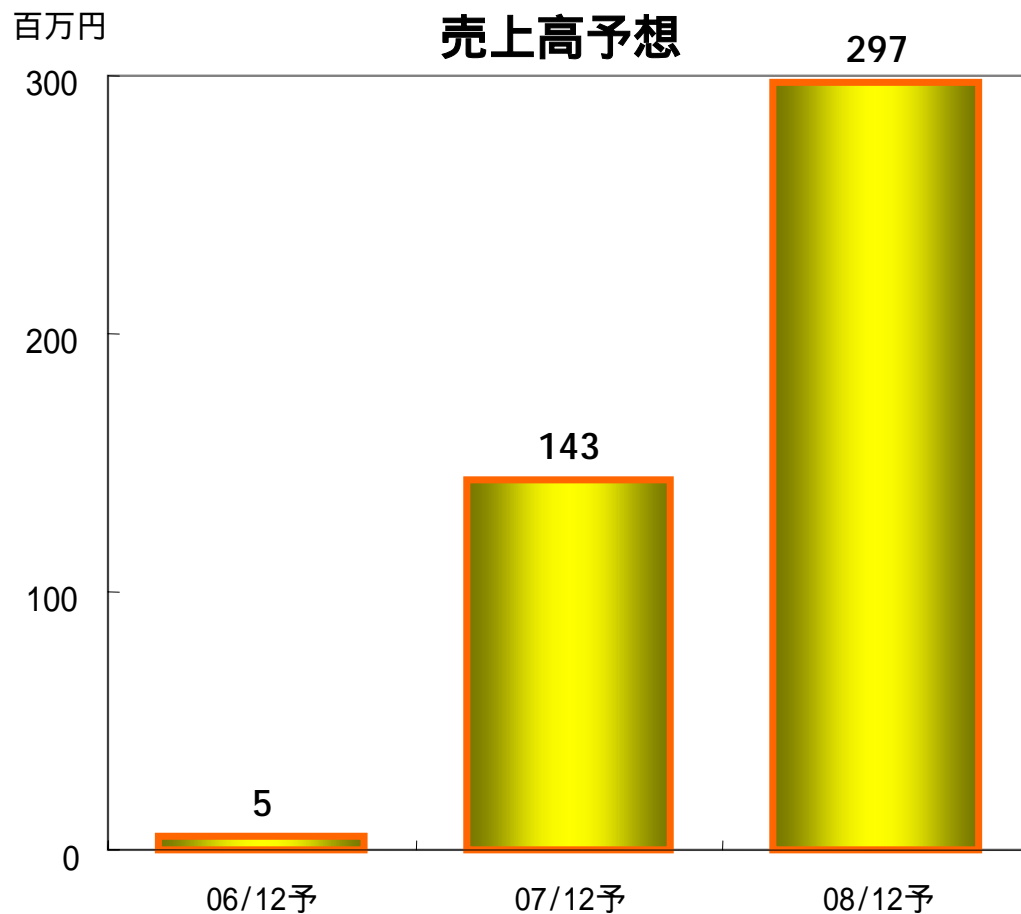
資本金: 100万USドル(翻訳センター100%出資)

代表者: 柴田 正志

## 5. 営業地域の拡大 - (2) 米国子会社売上予想

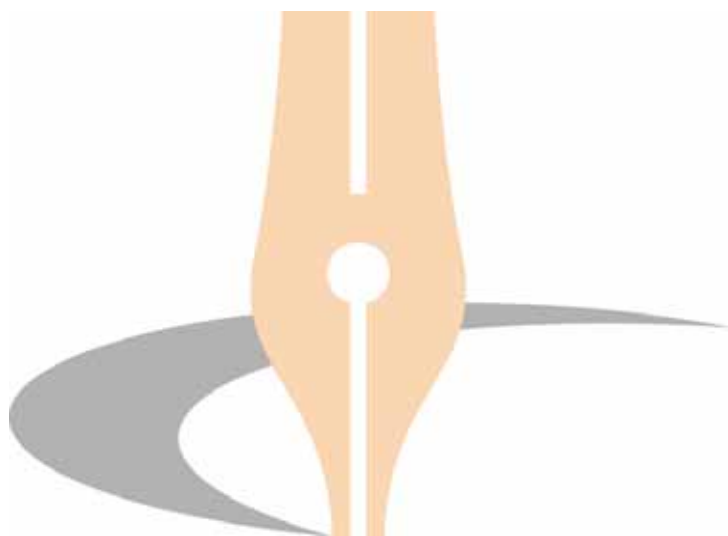
### ターゲット顧客

- MANGA出版大手と契約締結
- ゲームソフトメーカー
- 既存顧客の米国法人 (179社)
- 日本進出の現地企業



注) 1 \$ = 115 円

## 業績動向



1. H19年3月期 中間決算概要
2. H19年3月期 通期見通し
3. 業績推移
4. 翻訳センターの目指す方向性

# 1. H19年3月期 中間決算概要

単位:百万円

	H18/9期	増減	伸率(%)
売上高	1,913	314	19.6
営業利益	149	31	26.3
経常利益	135	16	14.1
当期利益	73	19	36.3
一株当たり 中間純利益(円)	5,792	-	-

期初予想に対し、売上高4.9%、経常利益10.7%上回る  
 受注件数は前年同期比11.5%増  
 上場関連費用15百万円(営業外費用)吸収し、2ケタ増益

(注)本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

## 2. H19年3月期 通期見通し

単位:百万円

	H18/3期	H19/3期 予想	増 減	伸率(%)
売上高	3,488	3,849	360	10.3
営業利益	333	374	40	12.3
経常利益	326	358	31	9.8
当期利益	175	207	31	18.3
一株当たり当期利益(円)	13,217	16,162		
一株当たり配当金(円)	2,000	2,000		

4期連続増収増益となる見通し

下期に入っても受注は堅調に推移

自動車関連受注が大幅増加、特許・医薬・金融も増加



### 3. 業績推移

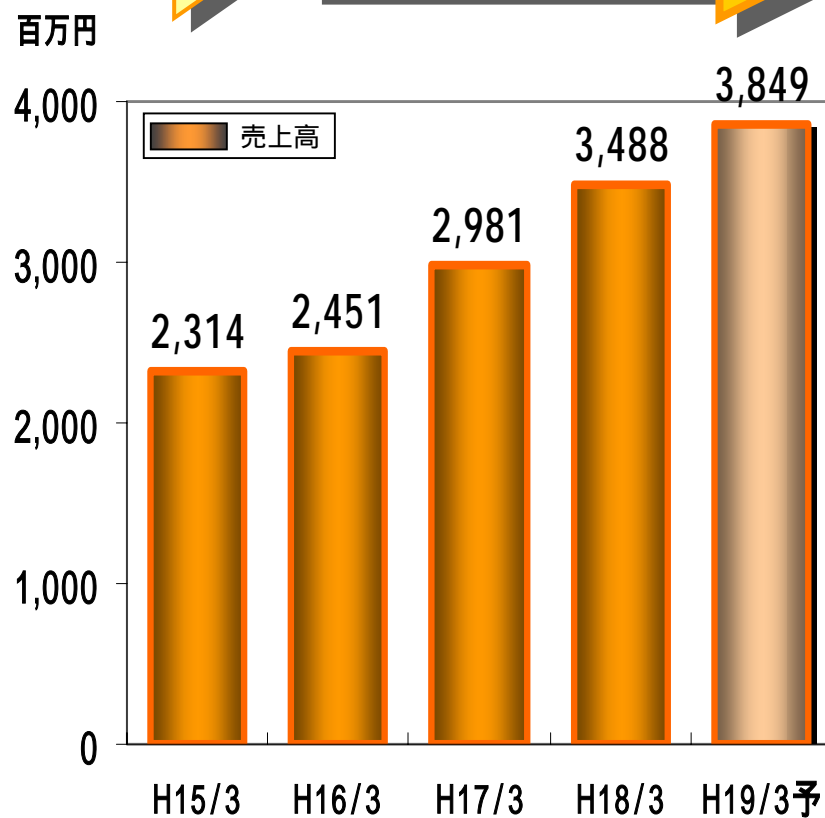
マネジメント強化とサービス品質向上で収益改善

量的拡大

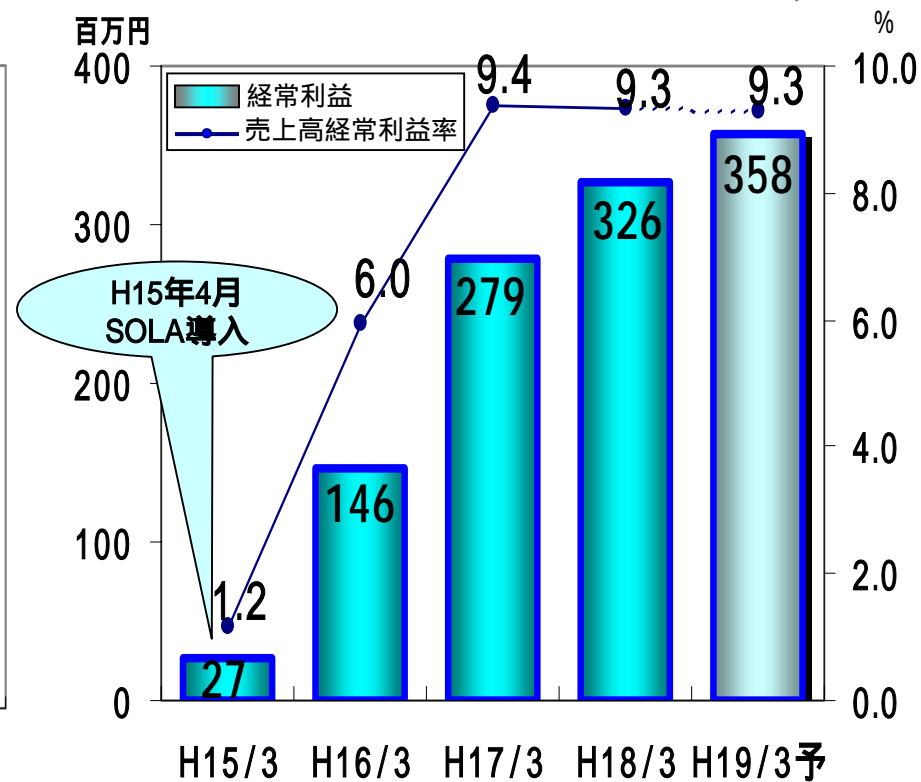
「品質」と効率化

量的拡大

「品質」と効率化

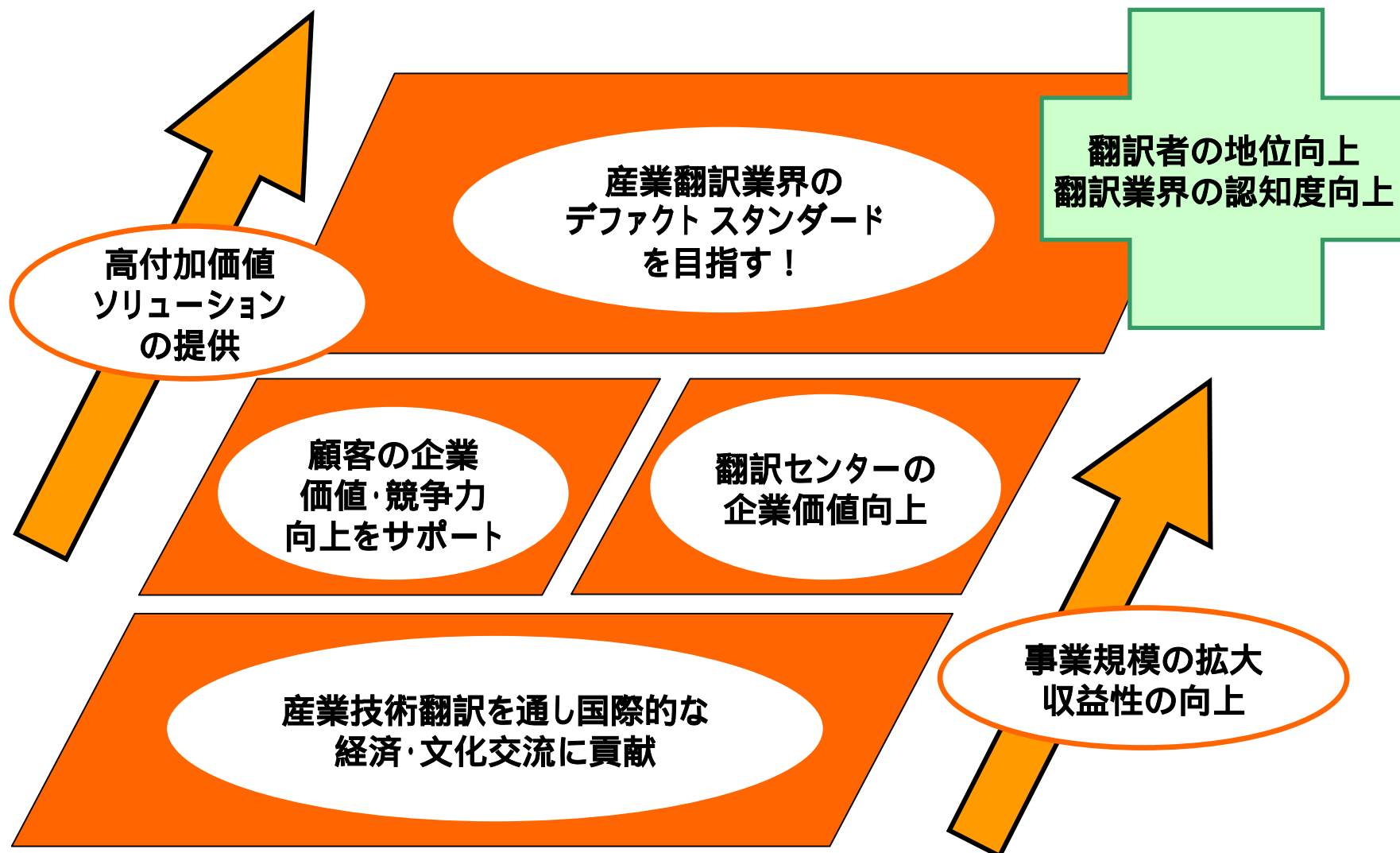


H15/3期は単体、H16/3期～H19/3期は連結ベース。



H15/3期は単体、H16/3期～H19/3期は連結ベース。

## 4. 翻訳センターの目指す方向性



## まとめ

4期連続増収増益の見通し

成長加速のために

- ・サービスの高付加価値化
- ・営業地域の拡大
- ・新規分野への進出

株主、顧客、翻訳者、従業員、全てのステークホルダーの満足度向上に努めます